

平成30年4～6月期結果(確報)の概要

I 今期の概況

1 今期の個人企業(個人経営の事業所)の業況判断D I

① 今期の業況判断
今期(平成30年4～6月期)の業況判断D Iは(-)54.3で、前期(平成30年1～3月期) (-58.3)に比べ、4.0ポイントの改善。

② 来期の見通し
来期(平成30年7～9月期)の業況見通しD Iは(-)52.0で、今期の業況判断(-54.3)に比べ、2.3ポイントの改善の見通し。

図1 業況判断D Iの推移 —調査産業計—

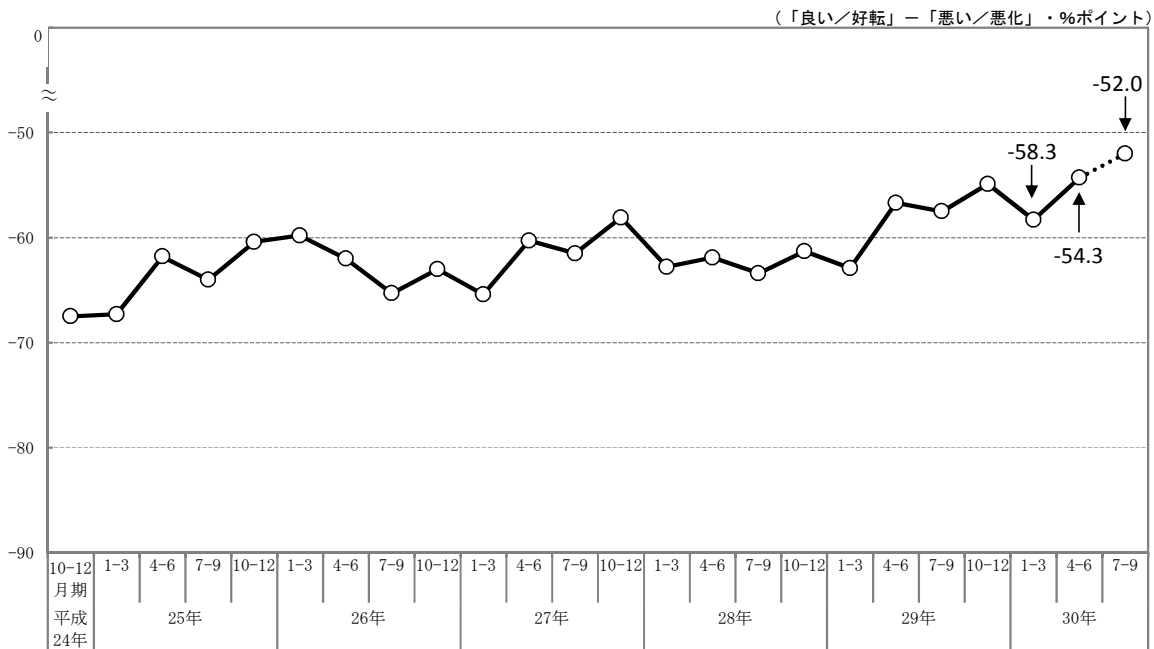


表1 業況判断の割合 —調査産業計—

	平成29年			30年		
	4～6月期	7～9月期	10～12月期	1～3月期	4～6月期	7～9月期 見通し
今期の業況, 来期の業況 (%)						
良い/好転	3.1	3.5	4.6	4.3	4.3	3.5
普通/不変	37.1	35.5	35.9	33.1	37.1	41.0
悪い/悪化	59.8	61.0	59.5	62.6	58.6	55.5
D I	-56.7	-57.5	-54.9	-58.3	-54.3	-52.0
参考						
日銀短観(大企業全産業計)	20	23	26	23	22	21
中小企業景況調査(全産業計)	-21.5	-21.9	-20.1	-24.8	-20.3	-9.8

(注) 「中小企業景況調査」：(独) 中小企業基盤整備機構作成

(注) 今期の調査票回収時期は、平成30年7月上旬から中旬までである。

2 今期の売上高及び営業利益

① 今期の1事業所当たりの売上高は、	
□「製造業」は	238万8000円で、前年同期に比べ、3.6%の減少
□「卸売業、小売業」は	359万5000円で、前年同期に比べ、0.7%の減少
□「宿泊業、飲食サービス業」は	216万5000円で、前年同期に比べ、2.7%の増加
□「サービス業」は	122万3000円で、前年同期に比べ、1.5%の減少
② 今期の1事業所当たりの営業利益は、	
□「製造業」は	68万7000円で、前年同期に比べ、7.2%の増加
□「卸売業、小売業」は	41万5000円で、前年同期に比べ、7.8%の増加
□「宿泊業、飲食サービス業」は	42万1000円で、前年同期に比べ、2.9%の増加
□「サービス業」は	46万4000円で、前年同期に比べ、6.5%の減少

※前年同期：平成29年4～6月期

表2 産業別売上高及び営業利益

		(1事業所当たり)											
		製造業		卸売業、小売業		宿泊業、飲食サービス業		サービス業					
		売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益				
実数 (千円)	平成28年	4～6月期	2,165	613	3,659	330	2,084	366	1,156	421			
		7～9月期	2,092	580	3,638	388	2,107	418	1,139	427			
		10～12月期	2,558	688	3,821	405	2,120	387	1,200	427			
	平成29年	1～3月期	2,328	605	3,320	287	2,014	372	1,131	377			
		4～6月期	2,478	641	3,621	385	2,109	409	1,242	496			
		7～9月期	2,431	569	3,648	446	2,245	443	1,189	450			
	平成30年	10～12月期	2,597	770	4,009	397	2,267	415	1,286	470			
		1～3月期	2,009	504	3,686	412	2,187	388	1,126	383			
		4～6月期	2,388	687	3,595	415	2,165	421	1,223	464			
	前年同期比 (%)	平成28年	4～6月期	-12.2	-8.9	-1.9	-22.9	-3.0	0.3	-12.9	-10.2		
			7～9月期	-9.4	-14.1	0.8	6.0	-4.4	13.6	-6.3	-4.3		
			10～12月期	7.5	6.8	-6.0	-16.3	-8.3	-17.7	-6.6	-9.3		
平成29年		1～3月期	1.5	-11.7	-6.9	-18.7	-10.6	-11.0	-0.3	-0.5			
		4～6月期	14.5	4.6	-1.0	16.7	1.2	11.7	7.4	17.8			
		7～9月期	16.2	-1.9	0.3	14.9	6.5	6.0	4.4	5.4			
平成30年		10～12月期	1.5	11.9	4.9	-2.0	6.9	7.2	7.2	10.1			
		1～3月期	-13.7	-16.7	11.0	43.6	8.6	4.3	-0.4	1.6			
		4～6月期	-3.6	7.2	-0.7	7.8	2.7	2.9	-1.5	-6.5			

3 今期の設備投資額

① 今期の1事業所当たりの設備投資額は、	
□「製造業」は	23万6000円で、前年同期（7万9000円）に比べ、増加
□「卸売業、小売業」は	4万3000円で、前年同期（5万4000円）に比べ、減少
□「宿泊業、飲食サービス業」は	5万6000円で、前年同期（6万4000円）に比べ、減少
□「サービス業」は	5万9000円で、前年同期（6万6000円）に比べ、減少
② 今期の1事業所当たりの設備投資率（売上高に対する設備投資額の割合）は、	
□「製造業」は	9.9%で、前年同期（3.2%）に比べ、6.7ポイントの上昇
□「卸売業、小売業」は	1.2%で、前年同期（1.5%）に比べ、0.3ポイントの低下
□「宿泊業、飲食サービス業」は	2.6%で、前年同期（3.0%）に比べ、0.4ポイントの低下
□「サービス業」は	4.8%で、前年同期（5.3%）に比べ、0.5ポイントの低下

※前年同期：平成29年4～6月期

表3 産業別設備投資額及び設備投資率

		(1事業所当たり)							
		製造業		卸売業、小売業		宿泊業、飲食サービス業		サービス業	
		設備投資額	設備投資率	設備投資額	設備投資率	設備投資額	設備投資率	設備投資額	設備投資率
		(千円)	(%)	(千円)	(%)	(千円)	(%)	(千円)	(%)
平成28年	4～6月期	53	2.4	74	2.0	66	3.2	50	4.3
	7～9月期	169	8.1	56	1.5	177	8.4	36	3.2
	10～12月期	64	2.5	93	2.4	84	4.0	47	3.9
平成29年	1～3月期	121	5.2	46	1.4	46	2.3	43	3.8
	4～6月期	79	3.2	54	1.5	64	3.0	66	5.3
	7～9月期	110	4.5	63	1.7	72	3.2	33	2.8
平成30年	10～12月期	98	3.8	57	1.4	140	6.2	42	3.3
	1～3月期	40	2.0	59	1.6	42	1.9	28	2.5
	4～6月期	236	9.9	43	1.2	56	2.6	59	4.8

Ⅱ 業況判断

1 調査産業計

(1) 業況

① 今期の業況

ア 今期（平成30年4～6月期）の業況判断D Iは（-）54.3 で、前期（平成30年1～3月期）（-58.3）に比べ、4.0 ポイント改善した。

イ 前期と比較した業況判断D Iは（-）38.3 で、前期（-49.2）に比べ、10.9 ポイント改善した。

ウ 前年同期（平成29年4～6月期）と比較した業況判断D Iは（-）48.5 で、前期（-49.1）に比べ、0.6 ポイント改善した。

② 来期の業況見通し

来期（平成30年7～9月期）の業況見通しD Iは（-）52.0 で、今期の業況判断（-54.3）に比べ、2.3 ポイントの改善の見通しとなっている。

図2 業況判断D Iの推移 —調査産業計—

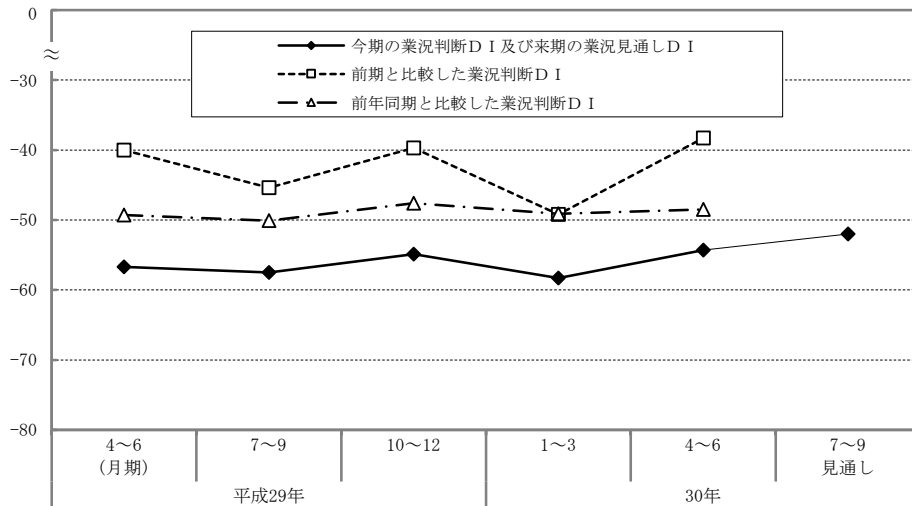
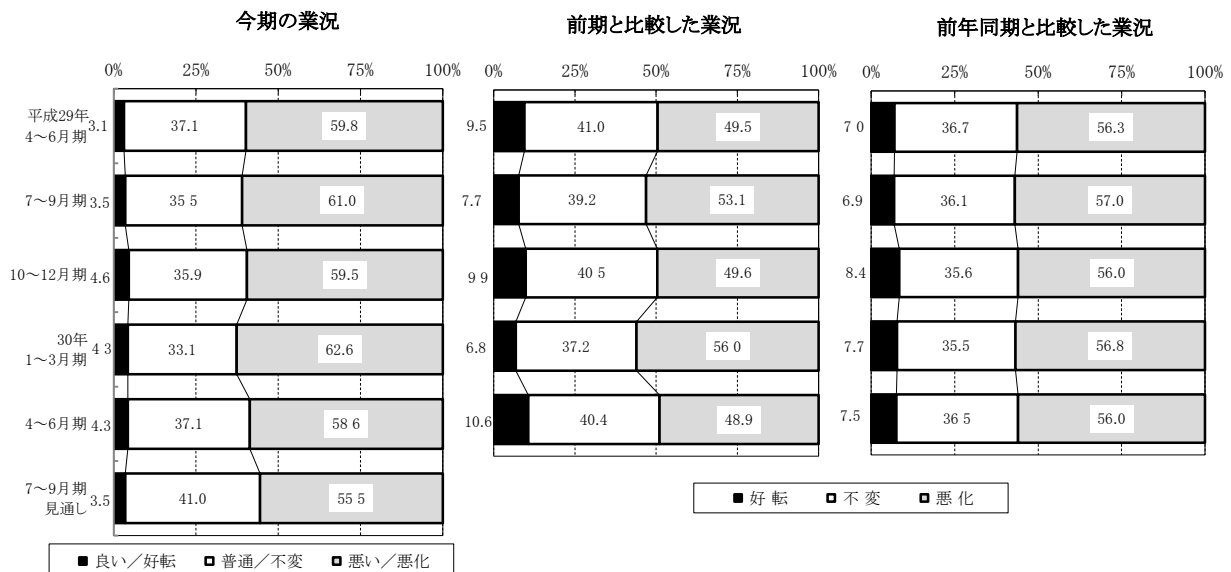


図3 業況判断の割合 —調査産業計—



(2) 売上の状況

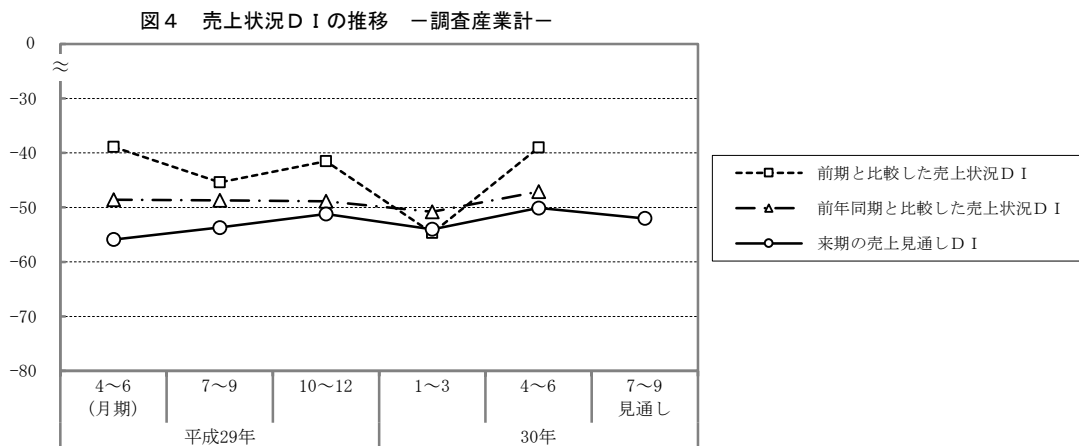
① 今期の売上の状況

ア 前期と比較した売上状況DIは (-)39.0 で、前期 (-54.7) に比べ、15.7 ポイント改善した。

イ 前年同期と比較した売上状況DIは (-)47.1 で、前期 (-50.8) に比べ、3.7 ポイント改善した。

② 来期の売上見通し

来期の売上見通しDIは (-)52.0 で、前期における今期の売上見通し (-50.1) に比べ、1.9 ポイントの悪化の見通しとなっている。



(3) 営業利益の状況

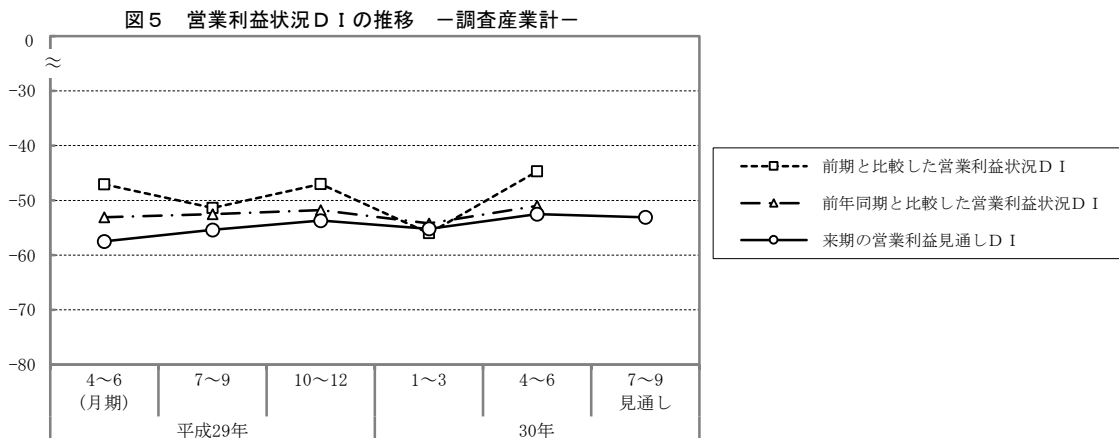
① 今期の営業利益の状況

ア 前期と比較した営業利益状況DIは (-)44.7 で、前期 (-56.0) に比べ、11.3 ポイント改善した。

イ 前年同期と比較した営業利益状況DIは (-)51.0 で、前期 (-54.2) に比べ、3.2 ポイント改善した。

② 来期の営業利益見通し

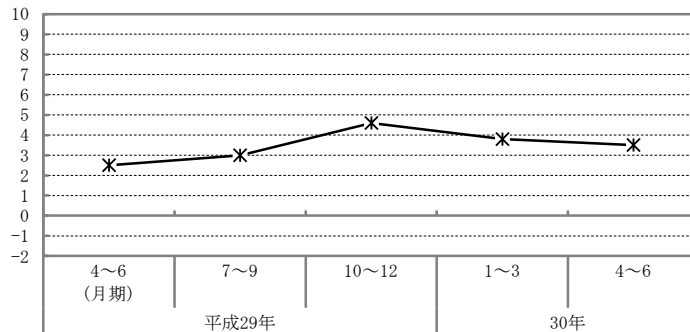
来期の営業利益見通しDIは (-)53.1 で、前期における今期の営業利益見通し (-52.5) に比べ、0.6 ポイントの悪化の見通しとなっている。



(4) 製品・商品・原材料の在庫状況

今期の製品・商品・原材料の在庫状況DIは (+)3.5 で、前期 (+3.8) に比べ、0.3 ポイント「過剰」が縮小した。

図6 製品・商品・原材料の在庫状況DIの推移 -調査産業計-

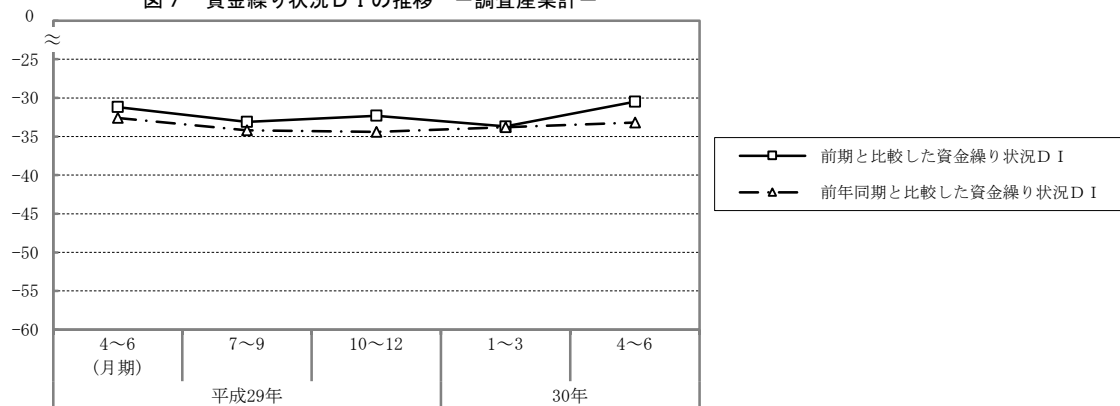


(5) 資金繰りの状況

ア 前期と比較した資金繰り状況DIは (-)30.5 で、前期 (-33.7) に比べ、3.2 ポイント改善した。

イ 前年同期と比較した資金繰り状況DIは (-)33.2 で、前期 (-33.8) に比べ、0.6 ポイント改善した。

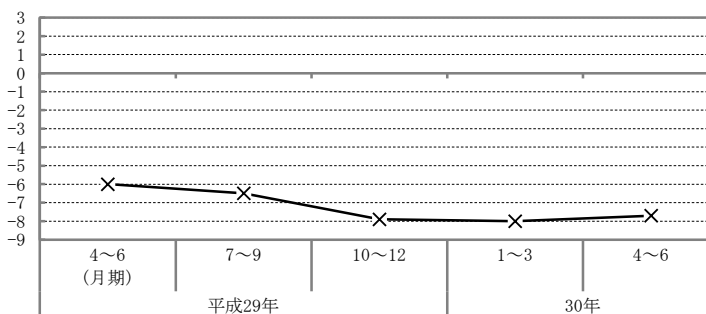
図7 資金繰り状況DIの推移 -調査産業計-



(6) 雇用状況

今期の雇用状況DIは (-)7.7 で、前期 (-8.0) に比べ、0.3 ポイント「不足」が縮小した。

図8 雇用状況DIの推移 -調査産業計-



2 製造業

(1) 業況

① 今期の業況

ア 今期（平成30年4～6月期）の業況判断DIは（-）45.8で、前期（平成30年1～3月期）（-50.2）に比べ、4.4ポイント改善した。

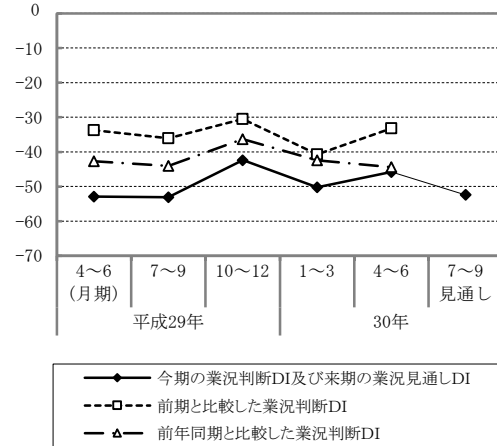
イ 前期と比較した業況判断DIは（-）33.2で、前期（-40.7）に比べ、7.5ポイント改善した。

ウ 前年同期（平成29年4～6月期）と比較した業況判断DIは（-）44.4で、前期（-42.4）に比べ、2.0ポイント悪化した。

② 来期の業況見通し

来期（平成30年7～9月期）の業況見通しDIは（-）52.4で、今期の業況判断（-45.8）から、6.6ポイントの悪化の見通しとなっている。

図9 業況判断DIの推移
—製造業—



(2) 売上の状況

① 今期の売上の状況

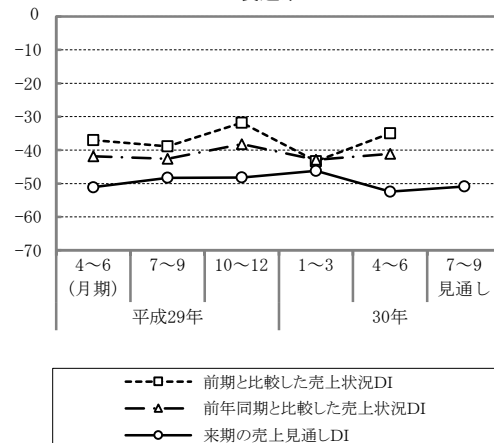
ア 前期と比較した売上状況DIは（-）35.0で、前期（-43.3）に比べ、8.3ポイント改善した。

イ 前年同期と比較した売上状況DIは（-）41.1で、前期（-42.9）に比べ、1.8ポイント改善した。

② 来期の売上見通し

来期の売上見通しDIは（-）50.9で、前期における今期の売上見通し（-52.4）から、1.5ポイントの改善の見通しとなっている。

図10 売上状況DIの推移
—製造業—



(3) 営業利益の状況

① 今期の営業利益の状況

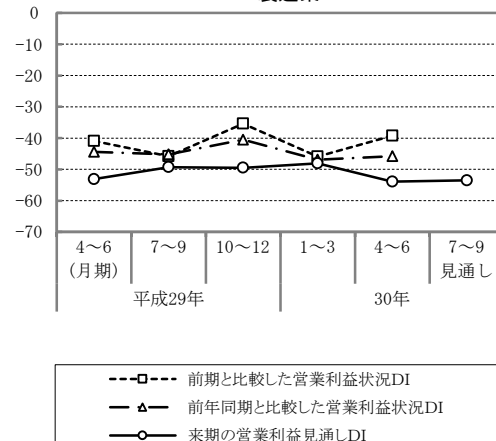
ア 前期と比較した営業利益状況DIは（-）39.2で、前期（-45.9）に比べ、6.7ポイント改善した。

イ 前年同期と比較した営業利益状況DIは（-）45.8で、前期（-46.9）に比べ、1.1ポイント改善した。

② 来期の営業利益見通し

来期の営業利益見通しDIは（-）53.5で、前期における今期の営業利益見通し（-53.9）に比べ、0.4ポイントの改善の見通しとなっている。

図11 営業利益状況DIの推移
—製造業—



(4) 製品・商品・原材料の在庫状況

今期の製品・商品・原材料の在庫状況DIは (+)4.6 で、前期 (+3.1) に比べ、1.5 ポイント「過剰」が拡大した。

(5) 資金繰りの状況

ア 前期と比較した資金繰り状況DIは (-)26.0 で、前期 (-30.5) に比べ、4.5 ポイント改善した。

イ 前年同期と比較した資金繰り状況DIは (-)31.6 で、前期 (-30.4) に比べ、1.2 ポイント悪化した。

(6) 雇用状況

今期の雇用状況DIは (-)5.8 で、前期 (-6.7) に比べ、0.9 ポイント「不足」が縮小した。

図12 製品・商品・原材料の在庫状況DIの推移 -製造業-

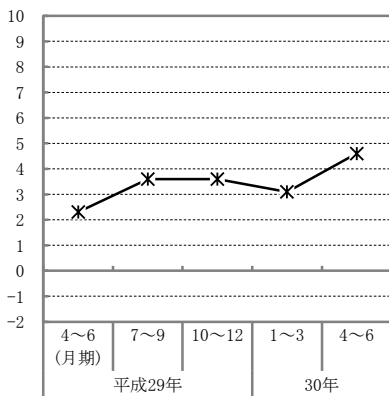


図13 資金繰り状況DIの推移 -製造業-

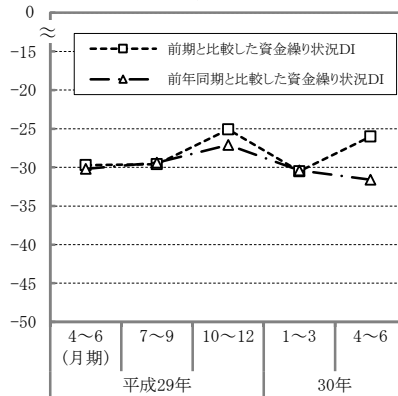
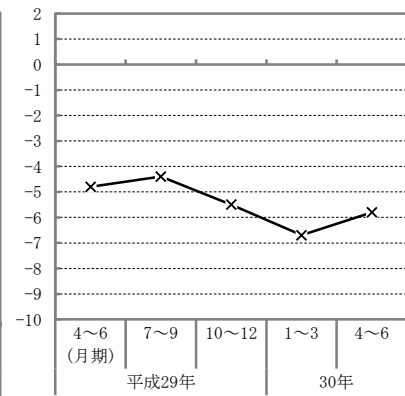


図14 雇用状況DIの推移 -製造業-



3 卸売業, 小売業

(1) 業況

① 今期の業況

ア 今期（平成30年4～6月期）の業況判断DIは (-)58.0 で、前期（平成30年1～3月期）(-62.5) に比べ、4.5 ポイント改善した。

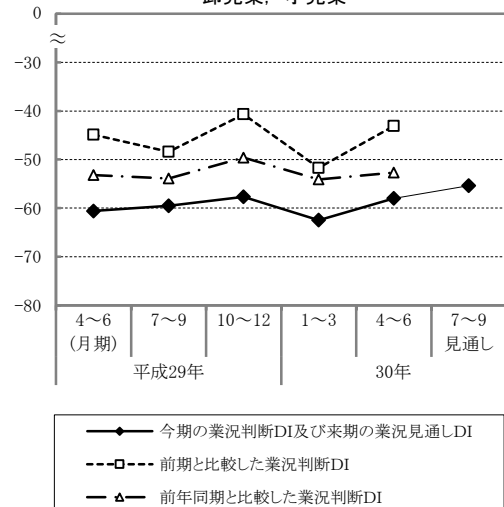
イ 前期と比較した業況判断DIは (-)43.1 で、前期 (-51.7) に比べ、8.6 ポイント改善した。

ウ 前年同期（平成29年4～6月期）と比較した業況判断DIは (-)52.7 で、前期 (-54.1) に比べ、1.4 ポイント改善した。

② 来期の業況見通し

来期（平成30年7～9月期）の業況見通しDIは (-)55.4 で、今期の業況判断(-58.0) に比べ、2.6 ポイントの改善の見通しとなっている。

図15 業況判断DIの推移 -卸売業, 小売業-



(2) 売上の状況

① 今期の売上の状況

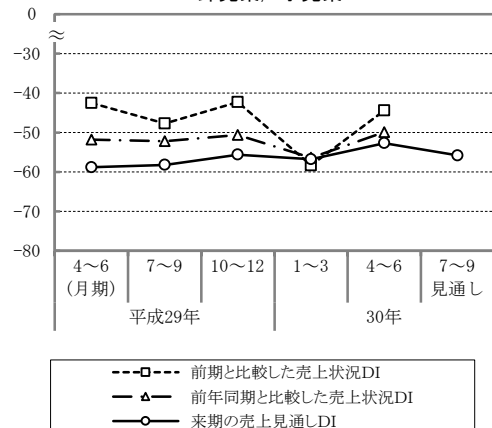
ア 前期と比較した売上状況DIは(-)44.4で、前期(-58.3)に比べ、13.9ポイント改善した。

イ 前年同期と比較した売上状況DIは(-)49.9で、前期(-56.4)に比べ、6.5ポイント改善した。

② 来期の売上見通し

来期の売上見通しDIは(-)55.8で、前期における今期の売上見通し(-52.7)に比べ、3.1ポイントの悪化の見通しとなっている。

図16 売上状況DIの推移
—卸売業、小売業—



(3) 営業利益の状況

① 今期の営業利益の状況

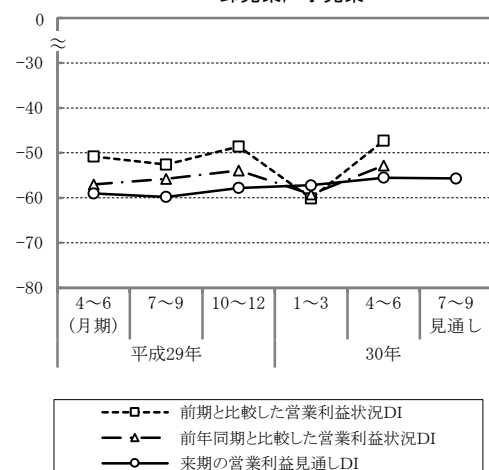
ア 前期と比較した営業利益状況DIは(-)47.3で、前期(-60.1)に比べ、12.8ポイント改善した。

イ 前年同期と比較した営業利益状況DIは(-)52.8で、前期(-59.2)に比べ、6.4ポイント改善した。

② 来期の営業利益見通し

来期の営業利益見通しDIは(-)55.7で、前期における今期の営業利益見通し(-55.5)に比べ、0.2ポイントの悪化の見通しとなっている。

図17 営業利益状況DIの推移
—卸売業、小売業—



(4) 製品・商品・原材料の在庫状況

今期の製品・商品・原材料の在庫状況DIは(+5.4で、前期(+7.4)に比べ、2.0ポイント「過剰」が縮小した。

(5) 資金繰りの状況

ア 前期と比較した資金繰り状況DIは(-)32.4で、前期(-37.3)に比べ、4.9ポイント改善した。

イ 前年同期と比較した資金繰り状況DIは(-)34.7で、前期(-37.0)に比べ、2.3ポイント改善した。

(6) 雇用状況

今期の雇用状況DIは(-)7.8で、前期(-7.9)に比べ、0.1ポイント「不足」が縮小した。

図18 製品・商品・原材料の在庫状況DIの推移 -卸売業、小売業-

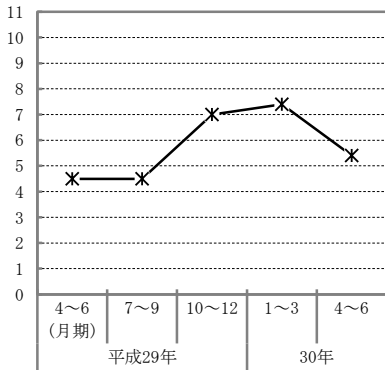


図19 資金繰り状況DIの推移 -卸売業、小売業-

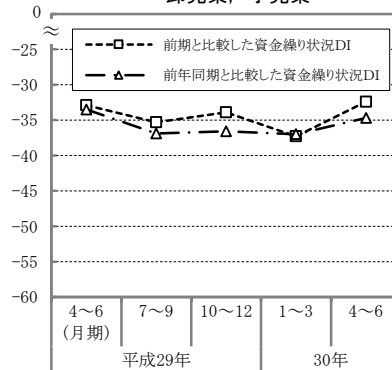
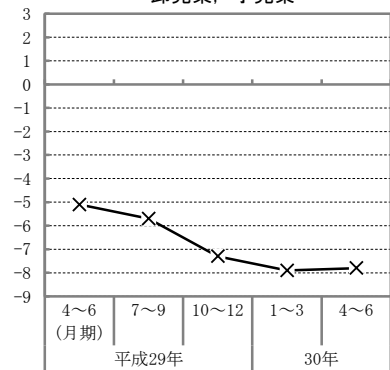


図20 雇用状況DIの推移 -卸売業、小売業-



4 宿泊業，飲食サービス業

(1) 業況

① 今期の業況

ア 今期（平成30年4～6月期）の業況判断DIは(-)52.9で、前期（平成30年1～3月期）(-52.5)に比べ、0.4ポイント悪化した。

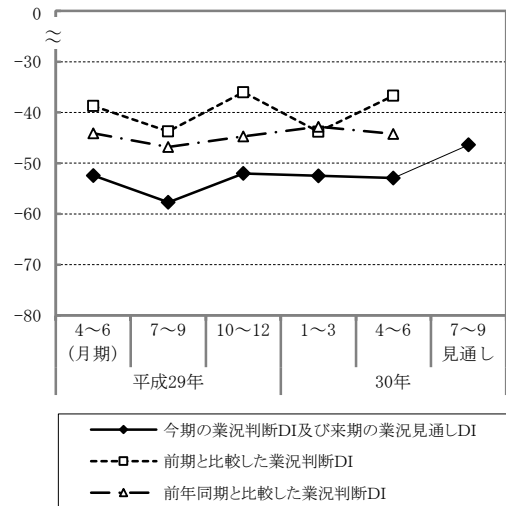
イ 前期と比較した業況判断DIは(-)36.7で、前期(-43.8)に比べ、7.1ポイント改善した。

ウ 前年同期（平成29年4～6月期）と比較した業況判断DIは(-)44.2で、前期(-42.8)に比べ、1.4ポイント悪化した。

② 来期の業況見通し

来期（平成30年7～9月期）の業況見通しDIは(-)46.4で、今期の業況判断(-52.9)に比べ、6.5ポイントの改善の見通しとなっている。

図21 業況判断DIの推移 -宿泊業，飲食サービス業-



(2) 売上の状況

① 今期の売上の状況

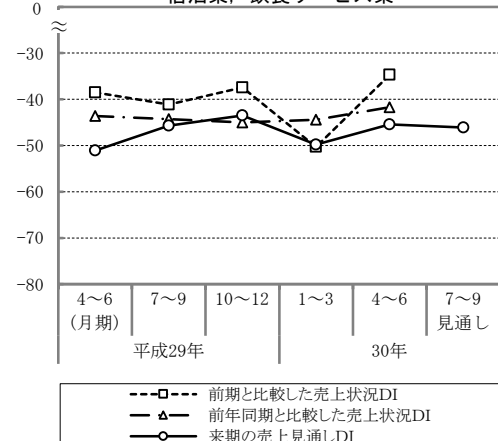
ア 前期と比較した売上状況DIは(-)34.7で、前期(-50.3)に比べ、15.6ポイント改善した。

イ 前年同期と比較した売上状況DIは(-)41.7で、前期(-44.4)に比べ、2.7ポイント改善した。

② 来期の売上見通し

来期の売上見通しDIは(-)46.1で、前期における今期の売上見通し(-45.4)に比べ、0.7ポイントの悪化の見通しとなっている。

図22 売上状況DIの推移 -宿泊業，飲食サービス業-



(3) 営業利益の状況

① 今期の営業利益の状況

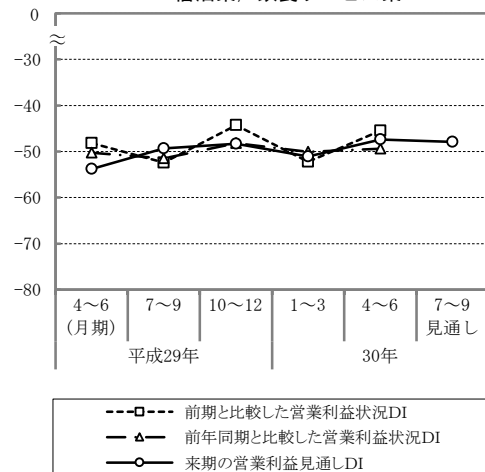
ア 前期と比較した営業利益状況DIは (-)45.5 で、前期 (-52.2) に比べ、6.7 ポイント改善した。

イ 前年同期と比較した営業利益状況DIは (-)49.4 で、前期 (-50.1) に比べ、0.7 ポイント改善した。

② 来期の営業利益見通し

来期の営業利益見通しDIは (-)47.9 で、前期における今期の営業利益見通し (-47.4) に比べ、0.5 ポイントの悪化の見通しとなっている。

図23 営業利益状況DIの推移
—宿泊業、飲食サービス業—



(4) 製品・商品・原材料の在庫状況

今期の製品・商品・原材料の在庫状況DIは (+)2.0 で、前期 (+1.0) に比べ、1.0 ポイント「過剰」が拡大した。

(5) 資金繰りの状況

ア 前期と比較した資金繰り状況DIは (-)32.9 で、前期 (-31.1) に比べ、1.8 ポイント悪化した。

イ 前年同期と比較した資金繰り状況DIは (-)33.7 で、前期 (-31.5) に比べ、2.2 ポイント悪化した。

(6) 雇用状況

今期の雇用状況DIは (-)9.4 で、前期 (-11.0) に比べ、1.6ポイント「不足」が縮小した。

図24 製品・商品・原材料の在庫状況DIの推移
—宿泊業、飲食サービス業—

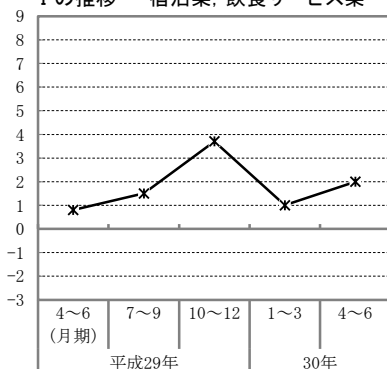


図25 資金繰り状況DIの推移
—宿泊業、飲食サービス業—

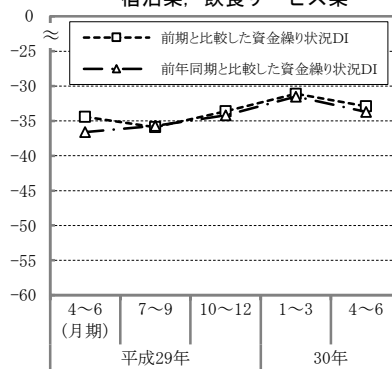
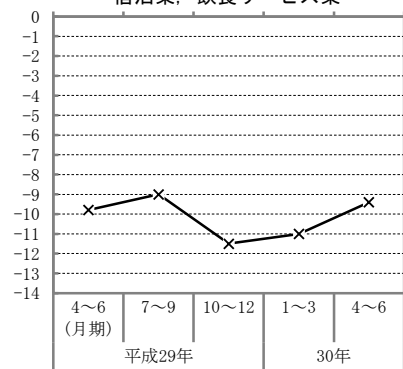


図26 雇用状況DIの推移
—宿泊業、飲食サービス業—



5 サービス業

(1) 業況

① 今期の業況

ア 今期（平成30年4～6月期）の業況判断DIは(-)54.1で、前期（平成30年1～3月期）(-60.1)に比べ、6.0ポイント改善した。

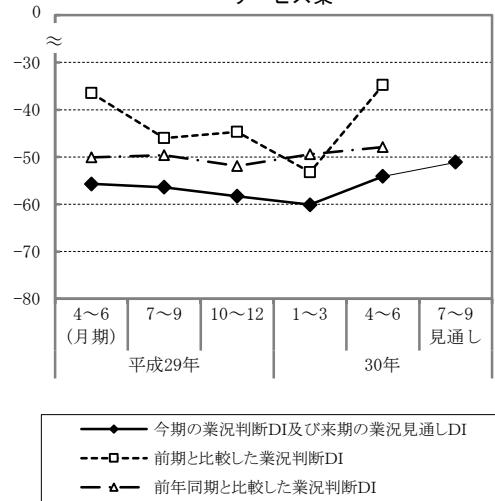
イ 前期と比較した業況判断DIは(-)34.8で、前期(-53.2)に比べ、18.4ポイント改善した。

ウ 前年同期（平成29年4～6月期）と比較した業況判断DIは(-)47.9で、前期(-49.4)に比べ、1.5ポイント改善した。

② 来期の業況見通し

来期（平成30年7～9月期）の業況見通しDIは(-)51.1で、今期の業況判断(-54.1)に比べ、3.0ポイントの改善の見通しとなっている。

図27 業況判断DIの推移
—サービス業—



(2) 売上の状況

① 今期の売上の状況

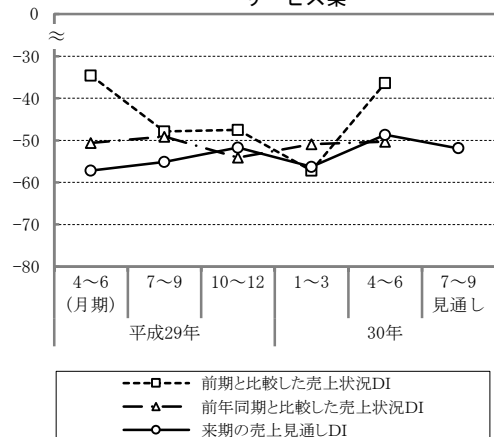
ア 前期と比較した売上状況DIは(-)36.4で、前期(-57.2)に比べ、20.8ポイント改善した。

イ 前年同期と比較した売上状況DIは(-)50.3で、前期(-50.9)に比べ、0.6ポイント改善した。

② 来期の売上見通し

来期の売上見通しDIは(-)51.9で、前期における今期の売上見通し(-48.7)に比べ、3.2ポイントの悪化の見通しとなっている。

図28 売上状況DIの推移
—サービス業—



(3) 営業利益の状況

① 今期の営業利益の状況

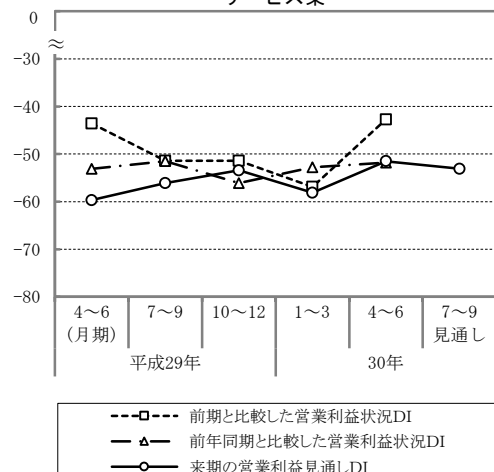
ア 前期と比較した営業利益状況DIは(-)42.7で、前期(-56.9)に比べ、14.2ポイント改善した。

イ 前年同期と比較した営業利益状況DIは(-)51.8で、前期(-52.8)に比べ、1.0ポイント改善した。

② 来期の営業利益見通し

来期の営業利益見通しDIは(-)53.1で、前期における今期の営業利益見通し(-51.5)に比べ、1.6ポイントの悪化の見通しとなっている。

図29 営業利益状況DIの推移
—サービス業—



(4) 製品・商品・原材料の在庫状況

今期の製品・商品・原材料の在庫状況DIは (+)1.4 で、前期 (+1.2) に比べ、0.2ポイント「過剰」が拡大した。

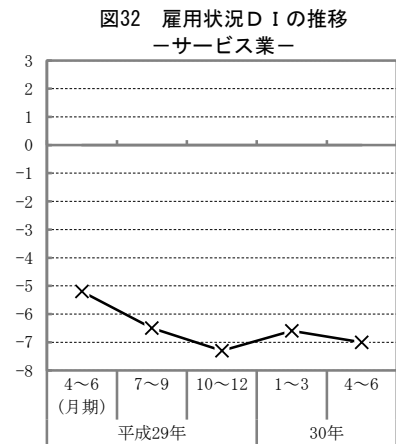
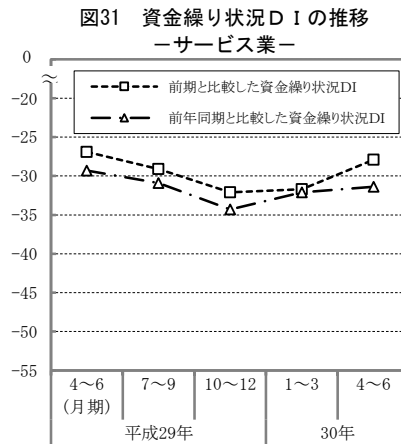
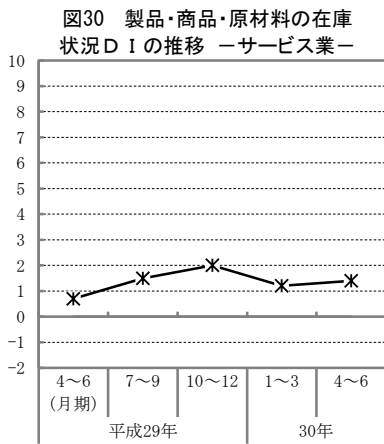
(5) 資金繰りの状況

ア 前期と比較した資金繰り状況DIは (-)27.9 で、前期 (-31.7) に比べ、3.8ポイント改善した。

イ 前年同期と比較した資金繰り状況DIは (-)31.4 で、前期 (-32.1) に比べ、0.7ポイント改善した。

(6) 雇用状況

今期の雇用状況DIは (-)7.0 で、前期 (-6.6) に比べ、0.4ポイント「不足」が拡大した。



Ⅲ 営業収支

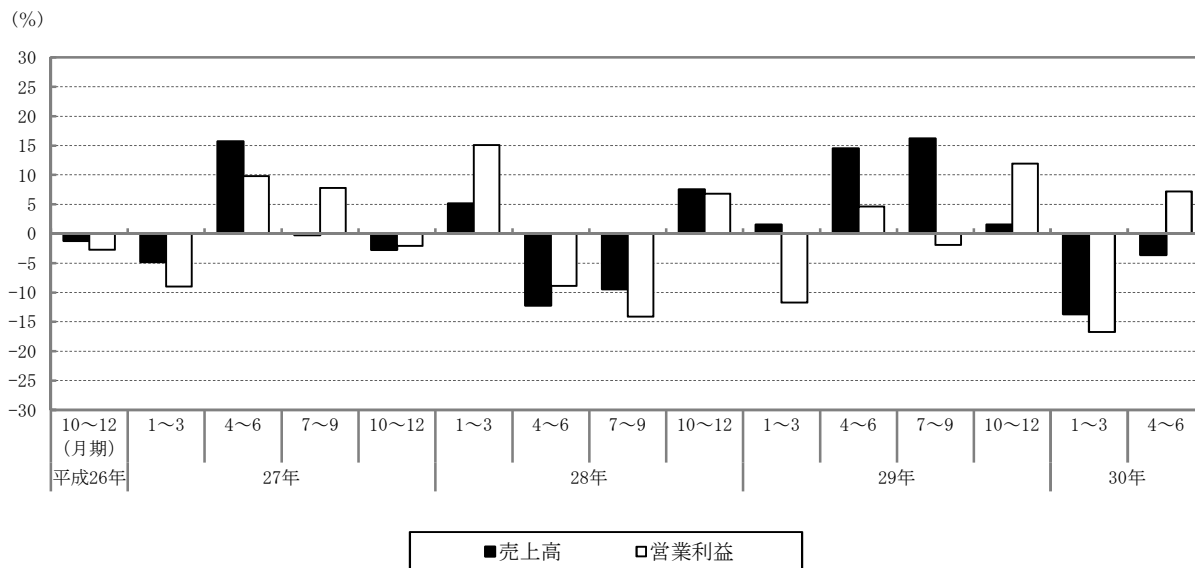
1 製造業

(1) 売上高及び営業利益

今期の1事業所当たりの売上高は238万8000円で、これに対する費用は売上原価が85万3000円、営業費が84万8000円となり、売上高からこれらの費用を差し引いた営業利益は68万7000円となった。

対前年同期比をみると、売上高は(-)3.6%で、2期連続で減少した。また、営業利益は(+)7.2%で、2期ぶりに増加した。

図33 売上高及び営業利益の対前年同期比の推移 —製造業—

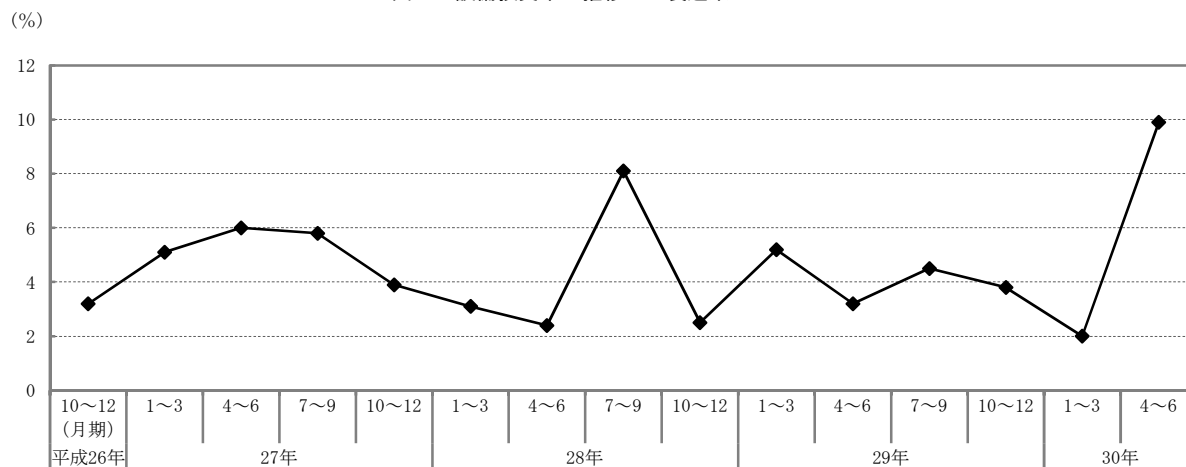


(2) 設備投資

今期の1事業所当たりの設備投資額は23万6000円で、前年同期(7万9000円)を上回った。

また、設備投資率(売上高に対する設備投資額の割合)は9.9%で、前年同期(3.2%)を6.7ポイント上回った。

図34 設備投資率の推移 —製造業—



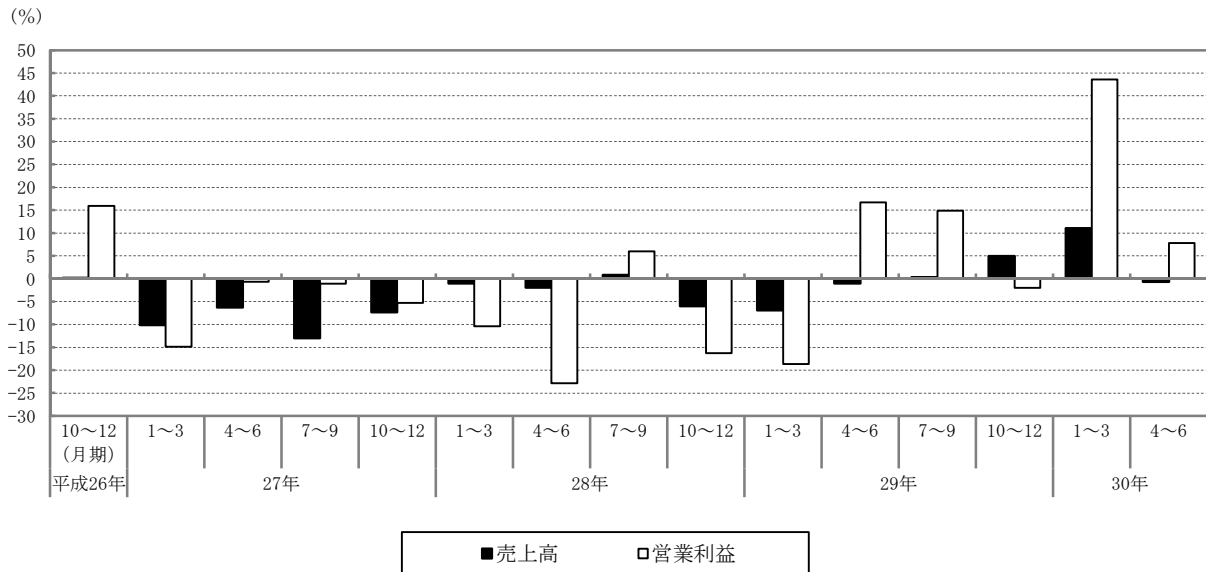
2 卸売業、小売業

(1) 売上高及び営業利益

今期の1事業所当たりの売上高は359万5000円で、これに対する費用は売上原価が239万9000円、営業費が78万1000円となり、売上高からこれらの費用を差し引いた営業利益は41万5000円となった。

対前年同期比をみると、売上高は(-)0.7%で、4期ぶりに減少した。また、営業利益は(+)7.8%で、2期連続で増加した。

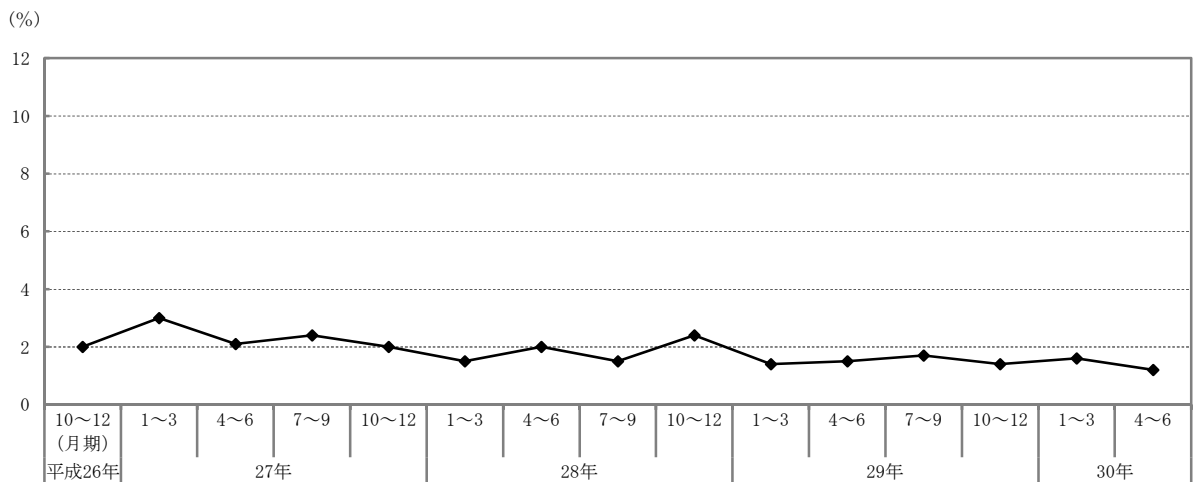
図35 売上高及び営業利益の対前年同期比の推移 -卸売業、小売業-



(2) 設備投資

今期の1事業所当たりの設備投資額は4万3000円で、前年同期(5万4000円)を下回った。また、設備投資率は1.2%で、前年同期(1.5%)を0.3ポイント下回った。

図36 設備投資率の推移 -卸売業、小売業-



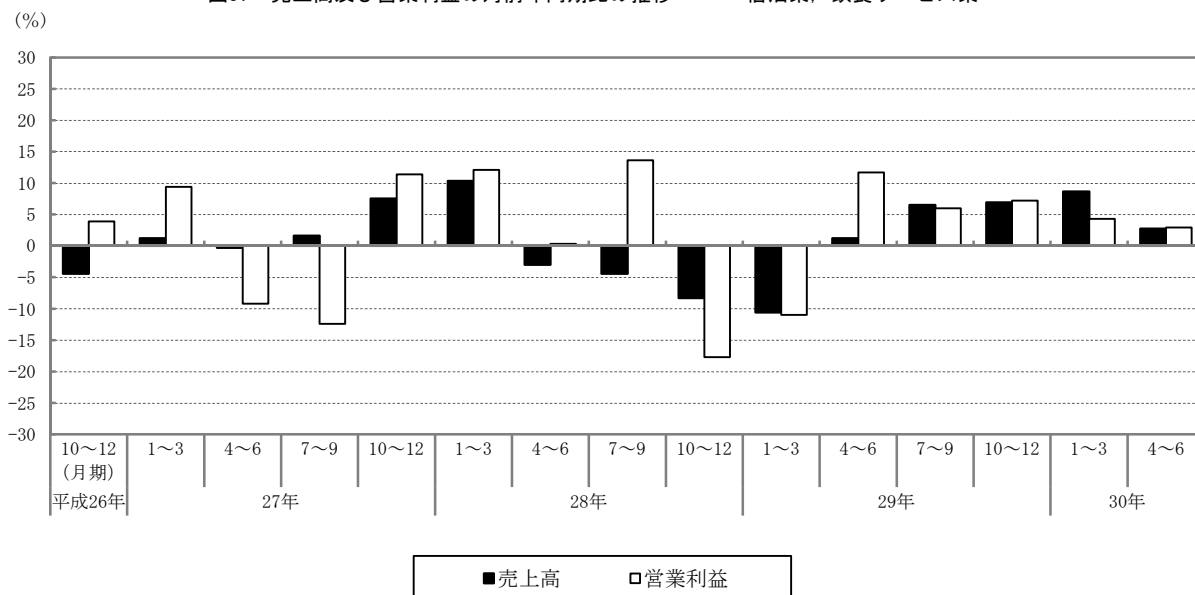
3 宿泊業，飲食サービス業

(1) 売上高及び営業利益

今期の1事業所当たりの売上高は216万5000円で、これに対する費用は売上原価が89万7000円、営業費が84万8000円となり、売上高からこれらの費用を差し引いた営業利益は42万1000円となった。

対前年同期比をみると、売上高は(+2.7%)で、5期連続で増加した。また、営業利益は(+2.9%)で、5期連続で増加した。

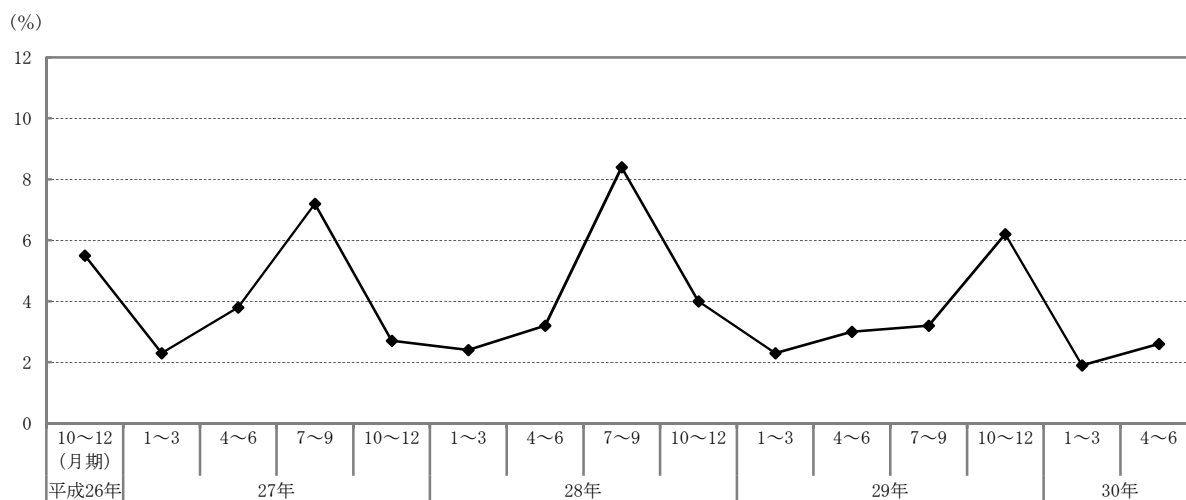
図37 売上高及び営業利益の対前年同期比の推移 ー宿泊業，飲食サービス業ー



(2) 設備投資

今期の1事業所当たりの設備投資額は5万6000円で、前年同期(6万4000円)を下回った。また、設備投資率は2.6%で、前年同期(3.0%)を0.4ポイント下回った。

図38 設備投資率の推移 ー宿泊業，飲食サービス業ー



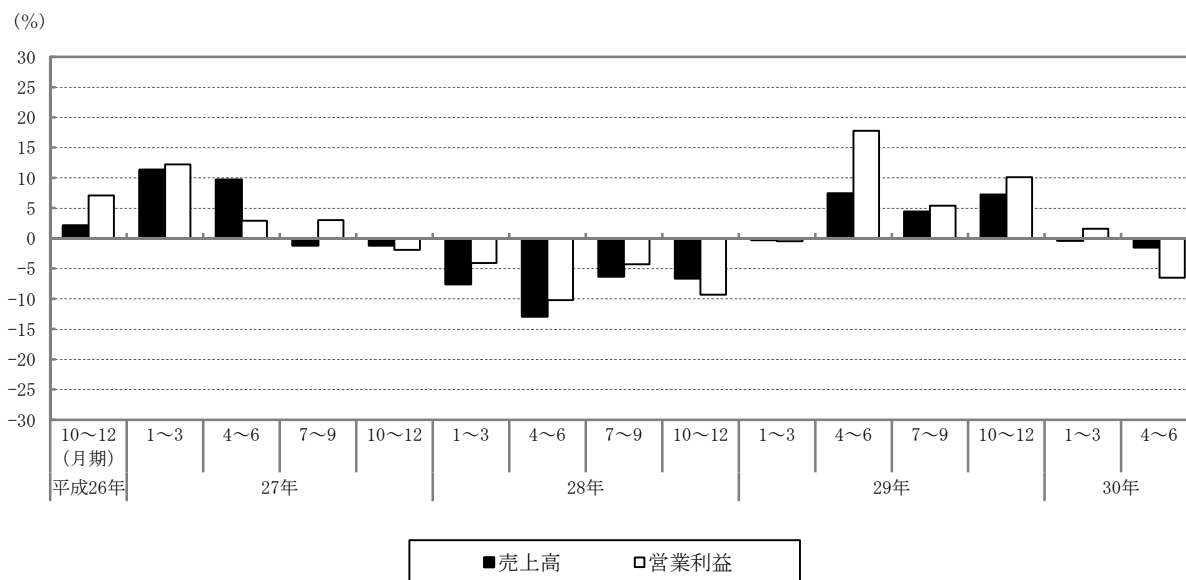
4 サービス業

(1) 売上高及び営業利益

今期の1事業所当たりの売上高は122万3000円で、これに対する費用は売上原価が18万4000円、営業費が57万5000円となり、売上高からこれらの費用を差し引いた営業利益は46万4000円となった。

対前年同期比をみると、売上高は(-)1.5%で、2期連続で減少した。また、営業利益は(-)6.5%で、5期ぶりに減少した。

図39 売上高及び営業利益の対前年同期比の推移 —サービス業—



(2) 設備投資

今期の1事業所当たりの設備投資額は5万9000円で、前年同期(6万6000円)を下回った。また、設備投資率は4.8%で、前年同期(5.3%)を0.5ポイント下回った。

図40 設備投資率の推移 —サービス業—

